

西東京地区協大会開催

職場からの発言

「生き生きと働くための権利パンフ」で
組合の風を職場に!

6月5日西東京地区協大会が田無市民会館で開催されました。あいにくの雨模様でしたが、続々と参加者が集まり無事に大会が成立しました。

8分会から発言があり、教育問題、平和、多忙化、組合活動など教職員の切実な思いを聞くことができました。

【職場からの発言】

教職員の多忙化などで、なかなか職場の教職員が語り合う場も少なくなりました。また、組合の意義や大切さを実感できない教職員も増えていると感じます。組合員が多い職場ではありませんが、「生き生きと働くための権利」パンフ（北多摩東支部作成）を全教職員に配布して積極的に活用しています。あわせて、職場の組合員で、管理職とも話し合いを持ち、労働条件についても確認していました。その内容もプリントにまとめ全教職員に配布しました。若いときに先輩の教員から「組合は自分たちの要求を実現していくところ」と言われてきました。若い人たちや未組合員の人達に組合があるのではないのとはどんな差があるのか伝え、若い人や困ったことがある人達を支えていきたいと思っています。月1回の職場会を誰でも参加できるように開催、署名もみなさん快く賛同してくれそうです。

ぜひ都教組に加入し、生活・いのちと健康を守り子どもを大切にする教育を実現するためにいっしょに考え力を合わせましょう。

「多忙化」解消に向けて!

30人学級・教職員定数増を求める署名

ブラック企業以上の働き方を強いられている現状を少しでも改善するための一歩です。2015年度政府予算に30人学級実現のための予算を組み入れてもらうよう文部科学省に要請します。

国の「35人以下学級」は、2年連続で前進が見送られています。さらに2014年度は教職員定数が削減されました。高校も原則有償に戻されています。東日本大震災・福島原発事故からの復興はまだまだ十分にすすめられていません。

その一方で「全国一斉学力テスト」「道徳の教科化」など安倍「教育再生」には多くの予算が措置されています。

子どもたちも教職員も人間として大切にされる学校づくりをすすめるために、多くの声を集めましょう。



この間の各種署名ありがとうございます。「地行法改悪反対」署名は、採決の日まで国会に届けました。「人事院への要請」は6/25に締切がのびました。至急支部に返信をお願いします。

すべての分会で対話をすすめよう

6月は 加入促進月間

援助金申請
お忘れなく

次回支部委員会

7月1日(火)

17:45~19:15

数は力! 団結の輪を強く大きく!